

# KiKiの広場

2018年 3月 1日

cafe NO.89  
KiKi



あれから7年、今年もあの日を迎えます。それ以前もそれ以後もいろいろなところで、地震や台風など様々な災害が発生しています。今もなお、想像を絶する苦しみや悲しみに耐え、必死に頑張っておられる方々がたくさんおられると思います。心も身体も温かくなるような春が、少しでも早く訪れることを願うばかりです。

## 3月の予定

休館日	1 3日 (火)
定休日	毎土・日曜日

## お願いとお詫び

誠に勝手ながら右記の日程で、都合により、臨時休業させていただきます。大変ご迷惑をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

## 臨時休業日

2日(金)・7日(水)・12日(月)  
21日(水)・23日(金)



## 「今月のケーキ」…「抹茶きなこの和風ケーキ」350円

抹茶ときなこの和の素材を合わせたケーキです。豆乳きなこクリームと抹茶スポンジを重ね、鮮やかな色のコントラストが美しいだけでなく、小豆による食感も楽しめる、満足感充分の大人なケーキに仕上がっています。

## 今月のお気に入り…「春の訪れを感じる絵本」

～「ファーティのはる」「もいのてがみ」「まゆとりゅう」「ももこのひなまつり」「サタタでげんき」「よもぎだんご」などなど～



「ファーティのはる」は、「ファーディとおちば」のこぎつねのファーディのお話です。「～おちば」では心優しいファーディの様子に胸がいっぱいになりました。「～はる」でも友だちを思うファーディの優しさは変わりません。早とちりをして友だちを巻き込んでしまいましたが、そのおかげでみんな一緒に春を満喫することができます。とても素敵な春の風景が楽しめます。そして、寒い冬、女の子が森の友だちに手紙を書いてもみの木につるしていく「もいのてがみ」。リスやトカゲ、もみの木などたくさんの友だちに書くその手紙の内容も絵も微笑ましく、見ているだけで笑顔になります。「はるになってもりにすみれがさいたら みんなでいっしょにあそびましょう。」という結びの言葉に、女の子の思いがあふれています。友だちからの返事は、くるみやいしやきのみ。思わず春の訪れが待ち遠しくなる、温かくて可愛い絵本です。



## 今月の本棚…「春の目覚め 虫たちの絵本」

～「バッタさんのきせつ」「じっちゃんのあるくみち」「みみずのオッサン」「あいのおつかい」「だんごおし」などなど～



「バッタさんのきせつ」の作家クライドルフは、スイスを代表する絵本作家です。幼い頃からアルプスのふもとの農家で、まわりの自然と親しみながら育ったそうです。そんなスイスの美しい自然を背景に、春から冬までのバッタさんのさまざまな生活の場面が描かれています。ユーモアあふれる絵から、小さな昆虫などに向けるクライドルフの温かいまなざしが伝わってきます。

## ほっとフレイク

胡蝶蘭その6…もしかして3度咲き？ 25個の花を二度咲きさせてくれた受付の胡蝶蘭も、昨年10月にその全ての花が落ちました。その後3度咲きに挑戦しようと、3本の茎を短く切り、1週間に1度カラカラになった鉢に、水



をザーッと流すということだけを続けてきました。すると、なんとなんと3本の茎からそれぞれ蕾が付き始めたではありませんか！肥料等も、今までと違うことをして枯らしたくないので、結局何もやらず水だけだったのですが。2016年の秋にいただいたこの胡蝶蘭、エントランスに置いていましたが、冬の冷え込みで年明けにはあっという間に枯れてしまいました。それから受付カウンターの上に場所を

移してから、よほど相性がいいのでしょうか。小さな蕾も数えると現在16個付いています。少しずつ膨らんでいく蕾を見ると、嬉しくてしかたありません。この蕾たちがどうか無事に花開きますように！！

